

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ぼくは、ともきくんにかわれている魚のテトラと言います。仕事は、ともきくんの家族みんなをいやすことです。

本当は、中学三年生のお兄ちゃんがかつていて、いつもぼくの世話を上手にしてくれています。でも、ともきくんのお兄ちゃんは受けんにいそがしいみたいで、夜はじゅくに行っています。お兄ちゃんは夜、僕の世話はできません。そこで、夜は、ともきくんにたのんで世話をしてもらっています。ともきくんの世話は、ていねいですがよくやさしいです。エサをたっぶりくれて、すぐにおなかいっぱいになってしまふほどです。そして、仲間と一緒に分け合えるくらいいのちよんどよいりようです。

でも、うれしい時もあれば、かなしい時もありません。それは、この前友だちのエビくんが、水しつが悪くて死んでしまったことです。水そうの前には、死んでしまったエビくんをかなしい目ですつと見つめている、ともきくんとともきくんのお兄ちゃんがいきました。ともきくんのお兄ちゃんはエビくんを見つめながら、

「さん念だったね。」

と言い、庭の土にうめたそうです。その光景を見ていたぼくは、とてもかなしかったです。

ともきくん①お願いします。たまには、水しつのかんりをしてください。それから、目がクラクラするので、電気をつけたり、けしたりしないでください。

どうか、最後まで大切に世話をしてください。

【文集はちおうじの子より】

問1 ともきくんの世話の様子として、正しいもの全てを選びなさい。

- ア 仲間と一緒に分け合えるくらいの、ちよんどよいりようのエサをあげている。
- イ 水しつが悪くならないように、水をとりかえている。
- ウ 死んでしまったエビを庭の土にうめてあげている。
- エ 電気をつけたり、けしたりしている。

問2 線部①お願いとは、だからだれへ向けたお願いですか。

にあってはまる言葉を文章から書きぬきなさい。

から

へ

解答

問1 ア エ

問2 (魚の)テトラ から

ともきくん へ

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

かくれんぼで、倉のすみにもぐりこんだ東一（とういち）君がランプを持って出て来た。

それはめずらしい形のランプであった。八十センチぐらいの太い竹のつが台になっていて、その上にちよっぴり火のともる部分がくっついていて、そしてほやは、細いガラスの筒であった。はじめて見るものにはランプとは思えないほどだった。

そこでみんなは、昔の鉄砲とまちがえてしまった。

「何だア、鉄砲かア」と鬼の宗八（そうはち）君はいった。

東一君のおじいさんも、しばらくそれが何だかわからなかった。眼鏡

「ごしじつと見ていてから、はじめてわかったのである。

ランプであることがわかると、東一君のおじいさんはこういって

子供たちを①しかりはじめた。

「これから、お前たちは何を持出すか。まことに子供というものは、だまつて遊ばせておけば何を持出すやらのわからん、油断もすきもない、ぬすつとねこのようなものだ。これから、それはこへ持つて来て、お前たちは外へ行って遊んで来い。外に行けば、電信柱でも何でも遊ぶものはいくらでもあるに」

こうしてしかられると子供ははじめて、自分がよくない行いをしたことがわかるのである。そこで、ランプを持出した東一君はもちろんのこと、何も持出さなかつた近所の子供たちも、自分たちみんなで悪いことをしたような顔をして、すこすこと外の道へ出ていった。

外には、春の昼の風が、ときおり道のほこりを吹立ててすぎ、のろのと半車が通つたあとを、白いちようがいそがしそうに通つてゆくこともあった。なるほど電信柱があつちこつちに立っている。しかし②子供たちは電信柱なんかで遊びはしなかつた。大人が、こうして遊ぶといつたことを、いわれたままに遊ぶというのは何となくばかげているように子供には思えるのである。

そこで子供たちは、ポケットの中のラムネ玉をカチカチいわせながら、広場の方へとんでいった。そしてまもなく自分たちの遊びで、さつきのランプのことは忘れてしまった。

【新美 南吉「おじいさんのランプ」より】

問1 線部①しかりはじめた とありますが、なぜ、おじいさんは子供たちをしかりはじめたのですか。一つ選りなさい。
ア 遊んではいけないところで遊んでいたから。
イ ランプをこわしてしまつたから。
ウ かつてにランプを持出したから。
エ ランプと鉄砲をまちがえたから。



問2 線部②子供たちは電信柱なんかで遊びはしなかつた とありますが、なぜ、子供たちは電信柱で遊ばなかつたのですか。次の文にあてはまるように、六文字で書き抜きなさい。

大人が、

といつたことを、いわれたままに遊ぶというのは何となくばかげているように子供には思えるのである。

解答

問1 ウ

問2 こうして遊ぶ

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ジャックは、豆のふくろをかかえて、うちまでとんでかえりました。うちへはいるか、はいらないに、ジャックは、

「おかあさん、きょうはほんとに、うまく行ったよ。」と、いきなりそういつて、だいたくいで、牛と豆のとりかえっこした話をしました。ところが、母親は、それをきいてよろこぶどころか、あべこべに①ひどくしかりました。」

「まあ、なんというばかなことをしてくれたのだね。ほんとにあきれてしまふ。こんなつまらない、えんどう豆のふくろなんかにつられて、だいいじめず牛一ぴき、もとも子もなくしてしまうなんて、神さま、まあ、このばかな子をどうしましょう。」

母親はぶんぶんおこって、いまいませうに、まごのそとへ、ふくろの中の豆をのこらず、なげすててしまいました。そして、つくづくなげなげなげに、しくんしくん、泣きだしました。

きつとよるこんでもらえるとおもっていると、あべこべに、うまれてはじめて、おかあさんのこんなにおこった顔を見たので、ジャックはびつくりして、じぶんもかなしくなりました。そして、なんにもたべるものがないので、おなかのすいたまま、そのぼんはやくから、ころんとねてしまいました。

②そのあくる朝、ジャックは目をさまして、もう夜があけたのに、なんだかくらいなおもって、ふとまごのそとをみました。するとどうでしょう、きのう庭になげすてた豆のたねから、めが生えて、ひと晩のうちに、ふとい、じょうぶそうな豆の大木が、みあげるほどたかくのびて、そここそ庭いっぱい、うっそうとしげっているではありませんか。

びつくりしてとびおきて、すぐと庭へおりてみすと、どうして、たかいたいって、豆の木は、それこそぼうずのしれないたかさに、空の上までものびていました。つると葉とがからみあって、それは、空の中をどんとつきぬけて、まるで豆の木のほしごのように、しっかりと立っていました。「あれをつたわって、てっぺんまでのぼって行ったら、ぜんたいどこまで行けるかしら。」

そうおもって、ジャックは、すぐとはしごをのぼりはじめました。でもまだてっぺんには来ていませんでした。

【楠山 正雄「ジャックと豆の木」より】

問1 線部①ひどくしかりました。とありますが、母親は、なぜジャックをしかったのですか。

- ア 帰ってくるのがおそかったから
- イ 大きいなえんどう豆をもって帰ってきたから
- ウ 人をだまして、牛をつれて帰ってきたから
- エ だいいじめず牛とえんどう豆をかえてきたから



問2 線部②そのあくる朝、ジャックは目をさまして、もう夜があけたのに、なんだかくらいなおもってとありますが、どうして朝なのにぐらかったのですか。次の文にどのように文章から六文字で書き抜きなさい。

ふとい、じょうぶそうな豆の大木が、

--	--	--	--	--

に、たかくのびていたから。

解答

問1 エ

問2 みあげるほど

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

山から里の方へ遊びにいった猿が一本の赤い蝋燭を拾いました。赤い蝋燭は沢山あるものではありません。それで猿は赤い蝋燭を花火だと思い込んでしまいました。

猿は拾った赤い蝋燭を大事に山へ持って帰りました。

(略)

いよいよこれから花火を打上げることになりました。しかし困ったことが出来ました。申しますのは、誰も花火に火をつけようとしないからです。みんな花火を見ることは好きでしたが火をつけに行くことは、好きでなかったのであります。

これでは花火はあがりません。そこでくじをひいて、火をつけに行くものを決めることになりました。第一にあたったものは亀でありました。

亀は元気を出して花火の方へやって行きました。だがうまく火をつけることが出来たでしょうか。いえ、いえ。亀は花火のそばまで来ると首が自然に引込んでしまつて出て来なかったのであります。

そこでくじがまたひかれて、こんどは鼬が行くことになりました。鼬は亀よりは幾分ましでした。というの首を引込めてしまわなかったからであります。しかし鼬はひどい近眼でありました。だから蝋燭のまわりをきよろきよろとうろついているばかりでありました。とうとう猪が飛出しました。猪はまったく勇ましい獣でした。猪はほんとうにやっけて火をつけてしまいました。

①みんなはびつくりして草むらに飛込み耳を固くふさぎました。耳ばかりでなく眼もふさいでしまいました。

しかし蝋燭はほんともいわずに静かに燃えているばかりでした。

【新美 南吉「赤い蝋燭」】

問1 だれも花火に火をつけなかった理由はなぜですか。次の□にあうように文章から書きぬきなさい。

□

ことは好きではなかったから。

問2 —線部①みんなはびつくりして草むらに飛込み耳を固くふさぎました。とありますが、なぜ、みんなはびつくりして草むらに飛び込み耳を固くふさいだのですか。次の□にあうように文章から書きぬきなさい。

□

が拾った赤い

□

を花火だと思っていた

から。

解答

問1 火をつけにくい

問2 さる ろうそく

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

むかしむかし、御殿峠の頂上に、一人のじいさんが一軒の茶屋を開いていました。その茶屋の名物といえ、ぶかしたてのまんじゅう。峠を通る旅人の中には、そのまんじゅう食べたさに、わざわざ峠を通る人さえあったということです。

さて、ある日のこと。茶屋のじいさんが、いつものように店番をしていると、旅姿をした一人のお侍がやってきました。そして、店先の縁台に腰をおろすと

「饅頭を一人前たのむ。」

と、注文しました。じいさんが、

「へいへい、お待ちどうさまです。」

と、いつものようにぶかしたての饅頭を二つ、皿に乗せて出すと、お侍は、慌ててムシヤムシヤとほおぼり、お茶も飲まずに、ささと立ち去って行きました。

ところが、それから数刻も経たないうちに、また先ほどのお侍が、姿を現しました。そして同じように、まんじゅうを注文して、慌てて食べると、また立ち去って行きました。

そんなことが、次の日も、また次の日も繰り返されるものだから、さすがのじいさんも、①不思議に思っ、お侍の後をつけてみることにしました。

するとどうでしょう。お侍は峠を少し下ったところで、やぶの中に入ってしまった。木の葉を頭に寄せたかと思うと、ドロン、と狐に姿を変えてしまったではありませんか。

驚いたじいさんは、②急いで茶屋に戻りました。というのも、お侍にもらった銭が、にせものかもしれないと思ったからです。早速銭箱の銭を一枚一枚調べてみました。しかし、どの銭も本物のようです。どうにも納得のいかないじいさんは、もう一度狐のところへ行ってみることにしました。

そして、そっとのぞいてみると、先ほどはお侍に化けていたきつねが、今度は商人に化けているではありませんか。八王子の宿に下りていくその背中には、山で集めた木の実やきのこなどがいっぱい背負われています。

この狐は、実は真面目に商いをして、そのお金で饅頭を買っていたのです。ようやく事情のみこめたじいさんは

「何ともりぢな狐じや。今度来たらたんと食わしてやるべえ」と、つぶやきながら、峠の茶屋へ戻って行ったということです。

【八王子のむかしばなし 峠のきつね】より

問1 線部①不思議に思っ、後をつけてみることにしました

とありますが、じいさんは、なぜ不思議に思っただのですか。

ア お侍が持ってきた銭がにせものだったから。

イ お侍が短い間に何度も饅頭を食べに来たから。

ウ お侍が狐ではないかと思ったから。

エ お侍がやぶの中に入ってしまったから。



問2 線部②急いで茶屋に戻りました。とありますが、じいさんは、なぜ急いで茶屋に戻ったのですか。

お侍にもらった銭が、



と思ったから。

解答

問1 イ

問2 にせものかもしれない

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

先生、ぼくは今日、宿題を忘れました。しかし、それにはわけがあったのです。

ぼくが宿題を忘れたわけは、宿題をしようとして筆箱とノートを開いたら、なんと筆箱から鉛筆、消しゴムが出てきて、後ろを向いたら、ノートまでが立っていたのです。ぼくは、「うおっ。」とびっくりしました。消しゴム、鉛筆、ノートは、「ここによこによ。」と話していました。すると突然、「よう、オレ達は今からかくれるぜ。」とみんなで口をそろえて言って、いっせいかくれました。ぼくは、ノートをつかまえようと思い、本だなの中とすき間、おもちゃの箱やふとんのシーツの中をさがしました。すると、シーツの中でノートがかくれているのを発見しました。にげられそうになったけど「はっ。」とたいてつかまえました。

次につかまえようとしたのは、鉛筆です。鉛筆は、「ちようどはさまるようなところかな?。」と思い、はさまっていきそうなところを見ってみました。まず、鉛筆けずりの中を探しました

次にかべの間を探したけれどもありませんでした。そして、今度はベッドの下を探すと、ベッドにはさまっている鉛筆を見つけました。

鉛筆は、「ちくしよ。」と言い、ぼくは、「あと一びきっ。」と言って、消しゴムを探し始めました。その時にはもう十二時でした。ぼくは、「消しゴムがそんな簡単などころにはいない。」と思い、くまなく探しました。けれども見つかることができませんでした。ぼくは、「あれ〜どこだ〜。」とさげびました。ふと、でっかいおもちゃ箱が目に入ったので、おもちゃ箱の中をもう一度探しました。するとカンガルーのぬいぐるみのおなかの中に、赤ちゃんというのを見つけました。ぼくは、「よ〜し、つかまえた。」と言って消しゴムを三時につかまえました。

ぼくはへろへろになって、ベッドでねてしまいました。

朝起きたらもう七時十五分になっていました。ぼくは、「やばっ。」と思い、がんばってじゅんびしたけど間に合いませんでした。だから宿題ができませんでした。

【一文集はちおうじの子「よ」】

問1 ぼくが、ノート、鉛筆、消しゴムを見つけたのはどこですか。
 ア ノート・本だな 鉛筆・えん筆けずり 消しゴム・いすの下
 イ ノート・本だな 鉛筆・えん筆けずり 消しゴム・カンガルーのぬいぐるみのおなかの中
 ウ ノート・シーツの中 鉛筆・ベッドの下・消しゴム・部屋のすみのかべの間
 エ ノート・シーツの中 鉛筆・ベッドの下・消しゴム・カンガルーのぬいぐるみのおなかの中



問2 ぼくが宿題をできなかったわけを十五文字で書きぬきなさい。

ぼくは、

しまったから。

解答

問1 エ

問2 へろへろになって、ベッドでねて

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ある日、王さまはこじきのようなうすをして、ひとりで町へやってゆきました。

町には小さな靴屋がいつけんあって、おじいさんがせつせと靴をつくっておりました。

王さまは靴屋の店にはいつて、

「これこれ、じいや、そのほうはなんとという名まえか。」

とたずねました。

靴屋のじいさんは、そのかたが王さまであるとは知りませんでしたので、

「ひとにものをきくなら、もつとていねいにいうものだよ。」

と、つつけんどんにいつて、とんとんと仕事をしていました。

(略)

王さまは、なるほどじぶんがまちがつていた、と思つて、こんどはやさしく、

「おまえの名まえを教えておくれ。」とたのみました。

「わしの名まえは、マギステルだ。」とじいさんは、①やつと名まえを教えました。

そこで王さまは、

「マギステルのじいさん、ないしょのはなしたが、おまえはこの国の王さまはばかやろうだとおもわないか。」

とたずねました。

「おもわないよ。」とマギステルじいさんはこたえました。

(略)

「もしおまえが、王さまはこゆびのさきほどばかだといつたら、わしはこれをするよ。だれもほかにきいてやしないから、だいじょうぶだよ。」

と王さまは、金の時計をポケットから出して、じいさんのひぎにのせました。

「この国の王さまがばかだといえはこれをくれるのかい。」

とじいさんは、金づちをもつた手をわきにたれて、ひぎの上の時計をみました。

「うん、小さい声で、ほんのひとくちいえはあげるよ。」

と王さまは手をもみあわせながらいきました。

するとじいさんは、やにわにその時計をひつつかんで床のうえにたたきつけました。

「さつさと出てうせろ。ぐずぐずしているとぶちころしてしまうぞ。不忠者め

が。この国の王さまほどごりつばなおかたが、世界中にまたとあるかッ。」

そして、もつていた金づちをふりあげました。

王さまは靴屋の店からとびだしました。とびだすとき、ひおいの棒にうつんと頭をぶつけて、大きなこぶをつくりました。

けれど王さまは、②(こ)ろを花のようにあかるくして、

「わしの人民はよい人民だ。わしの人民はよい人民だ。」

とごりかえしながら、宮殿のほうへかえつてゆきました。

【新美 南吉「王様と靴屋」】

問1 線部①やつと名前を教えました。とありますが、王様は、おじいさんにどのようになら、名前を教えてもらえましたか。

たのんだ。

問2 線部②(こ)ろを花のようにあかるくして。とは、王さまのどんな気持ちを表していますか。

ア 靴屋が王さまのいうとおりにした。からうれしい。

イ 靴屋が王さまをごりつばなおかたといつたからうれしい。

い。

ウ 靴屋が王さまを怒つたことで頭をぶつけたからかなしい。

い。

エ 靴屋が最後まで、王さまの言うとおりにしなかったからかなしい。

解答

問1 やさしく(ていねいに)

問2 イ

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

うずのしゅげを知っていますか。
うずのしゅげは、植物学ではおきなぐさと呼ばれますが、おきなぐさという名はなんだかあのやさしい若い花をあらわさないようにおもいます。

(略)

まっ赤なアネモネの花のいとこ、きみかげそうやかたくりの花のともだち、このうずのしゅげの花をきらいなものはありません。

「ごらんささい。この花は黒じゅすでもこしらえた変わり型のコップのように見えますが、その黒いのは、たとえばどう酒が黒く見えると同じです。この花の下を始終行ったり来たりするありに私はたずねます。

「おまえはうずのしゅげはすきかい、きらいかい。」
ありは活発に答えます。

「大すきです。だれだって①あの人をきらいなものはありません。」
「けれどもあの花はまっ黒だよ。」

「いいえ、黒く見えるときもそれはあります。②けれどもまるで燃えあがつてまっ赤な時もあります。」

「はてな、お前たちの眼にはそんなぐあいに見えるのかい。」

「いいえ、お日さまの光の降る時なら誰にだってまっ赤に見えるだろうと思います。」

「そうそう。もうわかったよ。お前たちはいつでも花をすかして見るのだから。」

「そしてあの葉や茎だって立派でしょう。やわらかな銀の糸が植えてあるようでしょう。私たちの仲間では誰かが病気にかかったときはあの糸をほんのすこうしもらって来てしずかにかだをさすってやります。」

「そうかい。それで、結局、お前たちはうずのしゅげは大すきなんだろう。」

「そうです。」

「よろしい。さよなら。気をつけておいで。」

【宮沢 賢治「おきなぐさ」より】

問1 —線部①あの人とは何をさしていますか。一つ選びなさい。
ア きみかげそう
イ アネモネの花のいとこ
ウ うずのしゅげ

問2 —線部②けれどもまるで燃えあがつてまっ赤な時もあります。とありますが、ありは、どんな時にまっ赤に見えると言いましたか。

解答

問1 ウ

問2 お日さまの光の降る(時)

9 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

電話をしているときに、相手が見えなくてもおじぎをしている。みんなもこのような行動を見たことが、きつとあるだろう。見たことが無くても、お母さんが電話をしている様子を観察していれば、きつと見ることができよう。

さて、①この行動についてぼくが思ったことは、日本人の礼儀が関係しているのではないかと、ということだ。おそらく、相手に本気で感謝したり、反省したりする気持ち、無意識のうちに行動に表れてしまっているのだろう。

ぼくのおじは、大学の仕事の関係でアメリカに行ったことがある。その時のアメリカ人の様子について教えてもらった。アメリカ人は日本人と違って、電話をしながらおじぎをするなどという行動はしていなかったそうだ。ぼくはこれを知り、アメリカ人は日本人よりフレンドリーだが、日本人はアメリカ人より感情が豊かなのではないかと、思った。

さて、話は変わるのだが、ぼくは前、ゴリラを研究している研究者の方が書いた本を読んだ。その本には、次のような内容が書かれていた。

ゴリラは集団性があり、基本的には集団行動をする。しかし、ゴリラは個体で行動することもある。そして、群れへ帰ってくるときには、群れのボスゴリラに必ずあいさつをしなければならぬ。だから、必ずあいさつをする。

ぼくはこれを読んだとき、ゴリラにも礼儀があるのではないかと、思った。同時に、あの研究者は、日本の若者を見てなんと言ったろうか、とも思った。

きつと、

「ゴリラの方が礼儀正しい。」

と大声で言うだろう。電車やバスの中で、大声で電話をする。人にぶつかっても何も言わない。このような行動を今の若者は取りがちである。もちろん、そうでない人もいるが。

今の日本には、少し礼儀が感じられない。②ゴリラを見習い、礼儀正しくするべきだとぼくは思う。

【「文集はちおうじの子」より】

問1 —線部①この行動とは、何を指していますか。

ア 電話をしている様子を観察すること。

イ 相手が見えなくてもおじぎをすること。

ウ アメリカ人はおじぎなどしないこと。

エ ゴリラは、ボスゴリラにあいさつをすること。

--

問2 —線部②ゴリラを見習いとありますが、筆者は、ゴリラのどのような行動を見習うべきだといっていますか。四文字で書き

抜きなさい。

--	--	--	--

解答

問1 イ

問2 あいさつ

みんなが住みやすい持続可能な社会にすること。これは、よりよい未来に欠かせないことだ。そのためには、一人一人がごみの排出量を減らす意識をもつことが大切だと私は思う。

最近、テレビでごみ問題について特集していた。ごみを焼却するためにたくさんのお金が使われていること、埋め立て地がもうすぐいっぱいになってしまうことなどを知り、とても大変だと思った。そこで、自分にも何かできることはないかと考えてみることにした。

私たちが出すごみの量はどのくらいなのだろう。そう思つて、私はインターネットで調べてみた。環境省のホームページによると、日本に住む一人一日に出すごみの重さは、九四七グラム(平成二十六年度)ということだった。

一人だけが減らそうと努力しても、そんなに変わらないという意見もあるだろう。確かに、今この瞬間も、ごみは出続けている。一人で努力しても、日本全体のごみの排出量はそんなに変わらないかもしれない。しかし、誰かが始めなければ、何も変わらない。

長野県では、一人が一日に出すごみの重さは八三八グラム(平成二十六年度)で、日本一少ないのだそうだ。今でこそ一位の長野県も、平成十七年度は全国七位だった。そこで長野県民は、「八〇〇グラムの壁」を破ろうという取り組みを始めたそうだ。長年にわたる取り組みが成果を上げ、一人一人の意識が変わり、今の結果につながっている。人の意識は変えられるのだ。

日本のごみ問題を解決するのは大変だけど、一人一人の意識は変えられる。だから、まずは自分が始めようと思う。そして、少しずつ、周りの人にもごみを減らす意識を広めていきたい。それが、誰もが住みやすい、持続可能な社会を作っていくことにもつながっていくだろう。

【「文集はちおうじの子」より】

問1 みんなが住みやすい持続可能な社会にするためには、何が大切ですか。□にあうように書き抜きなさい。

一人一人がごみの

を減らす

をもつことが大切。

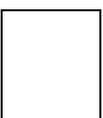
問2 筆者はどのようにすれば人の意識を変えられると考えていますか。

ア 自分からこつこつ努力することで、まわりの意識が変わる。

イ 長年にわたる研究によつて、一人一人の意識が変わる。

ウ ごみを焼却するためにたくさんのお金が使われていることを知らせることで、人の意識は変わる。

エ 誰もが住みやすい、持続可能な社会を作っていけば、意識は変わる。



解答

問1 排出量 意識

問2 ウ

【1】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

戦争はなぜ起こるのか。私は、戦争をなくし、世界を平和にするべきだと思う。

以前、私の活動している委員会がユニセフについて調べた。そのとき、私達のように学校に通うことは当たり前でないことを知り、なぜ当たり前でないのかを調べた。すると、学校に通わず戦場に兵士として送られる子どもがいるという。

①この事実を知ったとき、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の伝記を読んだ。そのとき、
「人をにくまずに、愛するのです。」
という言葉に心を打たれた。そして、戦争をなくすためには、人を愛することが大切だということを学んだ。

たしかに、人をにくまずに愛することは大変だと思う。しかし、人の長所を見つけ、その長所を愛することで、人をにくむことはなくなるのではないだろうか。それを世界の人々が行うことができれば、世界から戦争がなくなり平和になるのではないか。

私は、戦争はけんかが大きくなったものだと考える。そして、けんかは人の短所しか見ないため、起こるのではないかと思う。そのため、人の長所を見ることを心がけるとどうだろう。長所を見ることで、自然と人を敬う気持ちがわいてくると思う。私も、ふだんの生活から長所を見つけ、敬うことをこれから心がける。このような身近な行動が戦争をなくし、平和へのかけ橋になることを、私は願う。そして、戦争で失われる命がいつかなくなっしてほしいと思う。

【「文集はちおうじの子」より】

問1 線部①この事実 についてあてはまるものは何ですか。

- ア 「人をにくまずに、愛するのです。」という言葉があること
- イ 戦争をなくし、世界を平和にするべきだということ
- ウ 学校に通わず戦場に兵士として送られる子どもがいること
- エ 私達のように学校に通うことは当たり前だということ

問2 筆者の考えについて、
に あてはまる言葉を書き抜きなさい。

戦争は、人の しか見ないために起こった

が 大きくなったものである。

人の を見ることで、自然と人を敬う気が

わいてくると考える。

解答

問1 ウ

問2 短所・けんか・長所

12

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私は未来がよりよくなるために、これからも日本が発展していくことが必要だと考える。そのためには、みんなが英語を話せるようにして国際的な交流をしていくことが大切だと思う。

最近、テレビニュースを見てみると、東京オリンピックを控えていることもあり、報道も多くされている。東京オリンピックが始まると世界から選手の活躍を見たい人たちが日本へやってくる。そのときに多くの外国の方がやってくるので、一度に国際的な交流を深められるチャンスだと私は思う。

そのためには、日本人が英語を話せるようにしていかなければならない。今、日本ではどんな英語教育をしているのかを調べてみた。すると、今の小学校の英語教育は非常によい状態に保たれていることが分かった。一方で大人は収入には直結しないため、話せない人が多いということが分かった。英語を工夫して覚える人が増えれば、日本人の英語能力は格段に上がると思う。

しかし、なぜそこまでして英語を話せるようにしなければならぬだろうと思う人もいるだろう。確かに、世界と交流していくときに、ドイツ語や中国語、ロシア語などで交流していけばいいじゃないかと思うところもある。

だが先日、地図で国が主に使っている言葉を調べていると英語が最も多かった。英語が話せるようになれば多くの国々と交流しやすくなるのだ。

多くの国と交流できれば、技術を分かち合い足りないところを埋めることもできる。そうすれば、技術が向上し、発展し続けることができるため、今よりももっと便利で暮らしやすくなると思う。

これからも、発展し続ける世の中になって欲しい。そのために私ができることは、英語を覚えるときに好きな映画やゲームを英語版でやり、自然と流れを覚えたり、本や新聞を英語で読んだり、工夫して学習していくことだ。①そのことを多くの人が行い、英語が上手くなったら、それが発展し続けることにつながり、よりよい未来につながっていくだろう。

【「文集はちおうじの子」より】

問1 次の文の□にあてはまる言葉を書き抜きなさい。

英語を主に使っている国が多いため、英語を話せるようになる

と多くの国々と

しやすくなる。

問2 線部①そのこと が示すことを、一〇文字で書き抜きなさい。

こと

解答

問1 交流

問2 工夫して学習していくこと

13 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

富士山は七月一日、世界文化遺産に登録後、初の山開きをむかえました。静岡県と山梨県は、今年の夏に富士山入山料を試験的に導入しました。(二人千円。七月二十五日から八月三日の十日間。)

富士山の山頂をめざす登山者から、任意の協力金として各登山道で係員が受け取り、協力者には、記念バッジを渡していました。

結果は、十日間で約三千万円、三万四千人が協力しました。

この結果をふまえて、二〇一四年の夏から本格的に入山料を導入しました。しかし、入山料①反対の意見もあります。

「だれでも登れる山であってほしい。」

「お金を払えば、ゴミを捨ててもいいと思う人が出てくる。」

などの理由です。けれども、ほとんどの人が②賛成をしています。もっと金額を上げた方がいいという人もいます。その理由は、富士山のトイレや登山道を整備できるからだそうです。また、海外では、ほとんどの山で入山料をとっています。

ぼくは、富士山の入山料をとるという意見に賛成します。理由は、集まったお金でトイレや登山道をもっときれいにしてほしいからです。でも、③一番大事だと思うのは、一人一人が意識して、ゴミを絶対に捨てないで持ち帰る。いろいろなところに絶対に落書きをしない、勝手に植物を抜かない、登山道以外の道に入らないなどの「きまり」をしっかり守ることだと思います。そして、いつまでも気持ちよく美しい富士山にしていけるといいなと思います。

【「文集はちおうじの子」より】

問1 線部①反対、②賛成 のように入山料に「反対」の意見と「賛成」の意見として、正しいものを次の中からそれぞれ選びなさい。

- ア 誰でも登れる山であってほしい。
- イ 海外では、ほとんどの山で入山料をとっていない。
- ウ 富士山のトイレや登山道を整備できる。
- エ お金を払えばゴミを捨てられるようになる。

反対

賛成

問2 線部③「一番大事だと思う」とありますが、筆者が「一番大事だと思う」ことは何ですか。三文字を書き抜きなさい。

一人一人が意識して、

をしっかりとまもること。

解答

- 問1 反対 ア
- 賛成 ウ
- 問2 きまり

14

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

地球温暖化を防ぐ。この言葉を聞くと自分たちからは、遠い言葉のように感じます。ですが、「節電」をすることで、私たちも地球温暖化を防ぐ力になります。

①私は、インターネットで、地球温暖化を止めるということで私たちにできることは、なにかということについて調べました。調べた結果、日本の二酸化炭素の排出量の二割は、自分たちの家から出ているということが分かりました。そして、私は、この二割の一部だけでも私たちが減らすことはできないのかと思います、いろいろ調べました。調べていた中で、一番効果的だったのは、「節電」でした。使わない部屋の電気やエアコンは、消したり、見たい番組のみを見て、一日つけっぱなしにすることを防いだり、私たちにできることがたくさんありました。調べているうちに、節電なら誰でもできて、たくさんの方が温暖化を防ぐ力になれるということが分かりました。

節電をすることだけで、地球温暖化は、防げるのかと思う人もいますと思います。たしかに、温暖化は、進んでいく一方で、その温暖化を節電で止めることは、難しいと思います。ですが、私は、みんなの行動が大切だと思います。みんなが、温暖化を止めたいと思い、行動すれば、それは、きっと温暖化を止められる方向へ、よりよい未来へとつながるのではないかと私は思っています。

②私はこのことを考えてみて、分かったことがありました。それは、みんなの気持ちから世界が変わっていくということです。世界が変わっていくというのは、大げさかもしれませんが、一人でも、「温暖化を止めたい」、「私たちができることはないのか」と思えば、もう、そこから、「節電」は、始まっていると思います。

「節電を心がけて温暖化を防ぐ」これは、みんなの態度から始まることで、それによって、未来の地球が変わって行くと思います。

【二文集はちおうじの子】より】

問1 線部①私は、インターネットで、地球温暖化を止めるという
ことで私たちにできることは、なにかということについて調べま
したとありますが、筆者は調べて何が分かったと言っています
か。

ア 日本以外の国の地球温暖化の原因。

イ 日本の二酸化炭素の排出量の五割が家庭から出ていること。

ウ みんなで節電することで地球温暖化が防げること。

エ 二酸化炭素が、なぜ地球温暖化の原因になっているかというこ
と。

問2 線部②私はこのことを考えてみて、分かったことがありまし
た。とありますが、筆者の分かったこととは何ですか。次の文に
あてはまる言葉を書きなさい。

から
が変わっていくということ。

解答

問1 イ

問2 みんなの気持ち（から）

世界（が変わっていくということ）

15

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「鑑真」。

この人物は、①たび重なる航海の失敗の末に目の自由を失ってもあきらめず、ついには来日を果たした、奈良時代の中国のお坊さんである。奈良市にある唐招提寺というお寺をつくったことでも知られている。

私は学校の社会の時間で初めて「鑑真」を知った。子どもの頃は一度失敗するとすぐに投げ出してしまふことが多かったため、自分とは正反対だと思い、その時は教科書に目を向けなかった。学校の授業で歴史上の②偉人について調べることになり、ふと「鑑真」のことを思い出した。

歴史の教科書には「数々の苦勞を乗り越えた末、来日に成功した」とあった。日本への旅に五度も失敗しながら、苦勞して来日する必要があったのだろうかと思った。しかし、そうして挑戦し続けたことで偉人と呼ばれるようになったのだろう。調べていくうちに「鑑真」のすごさを知った。

偉人というのは、偉大なことを成しとげるために挑戦し続けることができた人のことを言うのではないかと私は思う。人にはそれぞれ夢がある。その夢がかなうかどうかは挑戦している時には分からない。しかし、努力が報われることを信じて努力を続けること。それが何より大切なことだと、私は「鑑真」の人生を通して学んだ。

【「文集はちおうじの子」より】

問1 線部①たび重なる航海の失敗 とありますが、「鑑真」は何回失敗したと文章には書いてありますか。

回

問2 線部②偉人 とはどのような人だと筆者は言っていますか。次から選びなさい。

ア 奈良時代の中国のお坊さんで、奈良市にある唐招提寺というお寺をつくった人

イ 一度失敗するとすぐに投げ出してしまふことが多い人

ウ 偉大なことを成しとげるために挑戦し続けることができた人

エ 努力が報われることを信じて努力を続けることができた人

解答

問1 五

問2 ウ

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

①日本のエネルギー開発として一番よい発電方法は地熱発電だと考えます。

そう考える一つ目の理由は、二酸化炭素の排出量が火力発電に比べて少なく、限りなくゼロパーセントに近いからです。また、火山の多い日本に適した発電とも言えます。言い換えれば、自然の営みを利用し、自然への影響に少ない、地球にやさしい発電とも言えます。

二つ目の理由は、天候や季節によらず、安定した発電量を得られるからです。現在、家庭にも普及し始めている太陽光発電は、曇りや雨の日は晴れの日に比べて発電量が減ってしまいます。しかし、地熱発電は地面からの力で発電するので、一年を通して安定した発電量を得ることができます。

しかし、地熱発電には次のような問題点もあります。地熱発電の最大の問題点は、熱源の多くが国立公園や温泉施設になつているという点です。国立公園では規制が多いことや、景観を損ねるなどということに思うように開発ができていません。一方、温泉施設からは、発電所を造ることで温泉の水量が減ると、反対運動が起きているそうです。

②この問題を解決するために、私は発電所を近代的なデザインにして、観光スポットとすればよいと思います。そうすれば、周辺の街も活性化すると考えます。

これらの理由から、私は日本に最も適した発電方法は、日本の豊富な資源を有効に利用できる地熱発電であると考えます。

【「文集はちおうじの子」より】

問一 線部①日本のエネルギー開発として一番よい発電方法は地熱発電だと考えます。とありますが、筆者は地熱発電のよさは何だといっていますか。次から二つ選びなさい。
ア 地球にやさしいから。
イ 地面の熱をむだにしないで使えるから。
ウ 外国では当たり前になってきているから。
エ 安定して発電量を得られるから。
オ 火力発電に比べて、お金がかからないから。

[Blank box for answer]

問二 線部②この問題を解決するためとありますが、この問題とは、熱源の多くが何になつてきているからですか。二つ書きなさい。

[Blank box for answer]

[Blank box for answer]

解答

問一 ア エ

問二 国立公園 温泉施設